



全国・岡山県学力・学習状況調査の結果

4月19日に実施しました全国・岡山県学力・学習状況調査（3～6年児童対象）の結果を10月6日に返却しました。それぞれの学年の詳しい結果や分析（強み・弱み）、対策等は、当該学年の保護者の方に学級懇談でお伝えしています。この学校だよりでは、本校の各学年の傾向を簡単にお知らせします。（3～6年生の保護者の方にお伝えした内容と重複する部分があります）

【6年生】（全国）

- 【国語】☆学級平均正答率は、全国・県平均を下回っている。
 - 身近な話題について、考えをもって表現できる。
 - △文章と図表を結びつけて必要な情報を見つけることが苦手である。
- 【算数】☆学級平均正答率は、全国・県平均を下回っている。
 - 4けた×1けたの計算。
 - △表の読み取りや割合の計算が苦手である。
- 【理科】☆学級平均正答率は、全国・県平均を下回っている。
 - 短答式の問題はおおむね答えられており、基礎的な知識は高い。
 - △記述式の問題が苦手である。
 - ※無回答率は、どの教科も県平均と比べやや高い。特に分析や読み取りをして、自分の考えや理由を記述する問題が高い。

【5年生】（岡山県）

- ※どちらの教科も県平均と比べ【基礎】が高く、【活用】が低い。
- 【国語】☆学級平均正答率は、県平均と同程度である。
 - 漢字の読み書き、ことわざ、物語文の読み取りの正答率が高い。
 - △設定の理解、条件に合わせた記述が苦手である。
- 【算数】☆学級平均正答率は、県平均を下回っている。
 - グラフの読み取り、基礎的な問題はよくできている。
 - △図形の求積、作図、大きな数の位の理解が苦手である。

【4年生】（岡山県）

- ※どちらの教科も県平均と比べ【基礎】【活用】ともに高い。
- 【国語】☆学級平均正答率は、県平均を上回っている。
 - 漢字の読み書き、聞き取りがよくできていた。
 - △聞き取った内容に対して、理由を挙げて自分の考えを書くことが苦手である。
- 【算数】☆学級平均正答率は、県平均を上回っている。
 - 基礎・基本の問題ができている。
 - △□を使った式が苦手である。

【3年生】（岡山県）

- ※どちらの教科も県平均と比べ、【基礎】より【活用】が低い。
- 【国語】☆学級平均正答率は、県平均を下回っている。
 - 物語や説明文は大まかに読み取れる。
 - △内容を想像したり、自分の考えを書いたりすることは苦手である。
- 【算数】☆学級平均正答率は、県平均を下回っている。
 - 基礎的な計算はできている。
 - △位取りや数量が苦手である。

質問紙から見られる、5・6年生の傾向

【5・6年生共通】

- ・生活習慣の一定のリズムが確立されていない児童が多い。
- ・自己肯定感がやや低い児童が多い。
- ・ゲームや動画視聴の時間が長い。またその時間が極端に長い（4時間以上）児童も多い。
- ・全般的に家庭学習時間が短い。
- ・自分で計画を立てることが苦手な児童が多い。

5年生特有の傾向

- ・自分の将来像について考え、その将来と学習、社会と学習を結びつけて考えることができる。
- ・自己肯定感や積極性がやや低く、控えめである。
- ・ゲームや動画視聴を全くしない児童が多い。
- ・自分の考えを話したり、書いたりすることが苦手である。

6年生特有の傾向

- ・友達との協働意識は高く、学校への所属感が高い。
- ・インターネットの使用について、ルールを作っている家庭が多い。
- ・自分の考えが相手に伝わるように工夫したり、友達の考えを聴いて、自分の考えを深くしたりする。
- ・自分の将来像について考えることが苦手である。

調査結果は児童の学力や生活の状況の一部ではありますが、実態を把握する上で貴重な資料です。これらと日常の様子をもとに、以下に示すことに取り組んでいきます。保護者の皆様には、10/6にお配りしました**※規則正しい生活で身に付く「力」**もご覧いただき今後とも生活習慣や家庭学習等についてのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校全体としての今後の取組

(1) 学習指導について（現在取り組んでいる内容も含めています。）

○基礎・基本の定着に取り組むとともに、自分の考えを表現する機会を多くとる。

基礎・基本の定着	説明文・読解力対策
①ねっこタイム（月1回）に重点化 ②朝学習での計算・音読	①音読の宿題（毎日） ②朝学習での読書 ③週末課題（毎週末） ・国語か算数 ・長い文章の問題 ・月曜日の朝学習で解説する

- ・岡山型学習指導のスタンダード（授業ファイブ）の遵守

①めあて→②自分で考え、表現する→③めあての達成度の確認→④まとめる→⑤振り返り

- ・授業等で【話す・書く】【聴く】【伝え合う】等、表現する場面を意図的に設定する。
- ・振り返り活動で理由を明らかにして自分の考えを書くことを多く行う。

○キャリア教育の取組を進め、自分のめあての達成や学習に対する意欲をもたせる。

- ・学期当初のめあての定期的な振り返りとその改善を行うサイクルを確立する取組を進める。
- ・活動の目的（何のためにするのか）や生活（将来）と学習を結びつける取組（どんな力がつくのか）を進める。

○家庭学習の質と量を向上させるために、自ら家庭学習の計画を立て、実行できる取組を進める。

※学力の定着は家庭での学習習慣やゲームや動画などのメディアに関わる時間に大きく影響されます。本校の児童は、メディアの使用時間が長い傾向にあります。ぜひご家庭でのルール作り、見守りやアドバイスをお願いします。

(2) 生活指導について

○基本的生活習慣の定着を図る。

- ・特別な教科道德の充実 ・凡事徹底（あいさつ・時間・清掃）を図る。
- ・生命・安全を大切にする指導（講師を招聘し専門的な見地からの指導の充実）

○思いやりと秩序のある学校づくりの取組を進める。

- ・学校行事や児童会活動、体験活動での児童主体の取組の充実を図る。
- ・自己や集団の責任を自覚し、「やりきる」指導に取り組む。
- ・自己・他者理解ができる指導の充実を図る。

※生活習慣についてもご家庭のご協力が必要になりますので、学校と家庭と連絡を取り合いながら、お子様の成長を支援していきたいと思います。